

Wolfgang Amadeus
Mozart
(1756~1791)



小倉貴久子の

モーツァルトの クラヴィーアのある部屋

「モーツァルトのクラヴィーアのある部屋」には毎回、モーツァルトと関わりのある作曲家をひとりづつゲストとして迎え、モーツァルトとゲスト作曲家のクラヴィーアのソロ作品、またピリオド楽器奏者と共にお届けする室内楽、連弾、歌曲などが、お話を交えながらのコンサートです。18世紀にタイムスリップしたかのようなひととき、「モーツァルトのクラヴィーアのある部屋」にみなさまをご案内いたします！

《第14回》2014年11月19日(水)午後7時開演(開場6:30)

Ch.W.グルック Christoph Willibald Gluck (1714-1787)

小倉貴久子 (クラヴィーア)・野々下由香里 (ソプラノ)

グルック: 「戦いの歌」/「ああ、私のやさしい炎が」/ 歌劇「思いがけない巡り会い」より
序曲、「われら愚かな民の思うは」「見知らぬすてきな方」「あなたがあんなに突然立ち去ってしまわなければ」
モーツァルト: 小品 K.15b / アンダンティーノ K.236 / グルックの歌劇「思いがけない巡り会い」の「われら愚かな民の思うは」による10の変奏曲 K.455 / ソナタ 変ロ長調 K.570 / 「鳥たちよ、年ごとに」「寂しい森の中で」「ルイーゼが不実な恋人の手紙を焼いたとき」/ 歌劇「フィガロの結婚」より「自分で自分から知らない」「恋とはどんなものかしら」
第14回、第15回の使用楽器: Klavier made by Chris Maene after Anton Walter [1795]

《第15回》2015年1月16日(金)午後7時開演(開場6:30)

J.Ch.Fr.バッハ Johann Christoph Friedrich Bach (1732-1795)

小倉貴久子 (クラヴィーア)・荒川智美 (クラヴィーア)

J.Ch.Fr.バッハ: 四手のためのソナタ イ長調、ハ長調 / ソナタ ニ長調
「お母様きいてちょうだい」による18の変奏曲
モーツァルト: 小品 K.15c / 四手のためのソナタ 変ロ長調 K.358
「お母様きいてちょうだい」による12の変奏曲 K.265

第16回の使用楽器: Klavier made by Kenta Fukamatti after John Broadwood [ca.1802]

《第16回》2015年3月18日(水)午後7時開演(開場6:30)

J.L.ドゥセク Jan Ladislav Dussek (1760-1812)

小倉貴久子 (クラヴィーア)・西山まりえ (シングルアクション・ハーブ)

ドゥセク: ソナタ「エレジー・アルモニク」嬰へ短調 作品61
ハーブとピアノのためのデュオ 変ホ長調 作品36
モーツァルト: 小品 K.15d / 2台のクラヴィーアのためのラルゲットとアレグロ 変ホ長調 K.deest [編曲版]
フランスの歌「美しいフランソワーズ」による12の変奏曲

近江楽堂

東京オペラシティビル3F

全席自由: 1回券 4,000円 (学生2,000円)

3回セット券 10,000円

後援: 日本モーツァルト協会

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会

協力: KiKla

■チケット発売・お問い合わせ■

メヌエット・デア・フリューゲル(主催) ☎048-688-4921

mdf-ks@h7.dion.ne.jp <http://www.h2.dion.ne.jp/~kikukohp/>

近江楽堂 松木アートオフィス ☎03-5353-6937

■チケット発売■

東京オペラシティチケットセンター ☎03-5353-9999

東京文化会館チケットサービス ☎03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/ticket/>

イープラス e+ <http://eplus.jp/>

ピティナ <http://www.piano.or.jp/concert/support/>



《第14回》Ch.W.グルック

モーツァルトが産声を上げた頃、ウィーンでオペラ作曲家として少し遅咲きの花を咲かせ始めたグルックは、修業時代に蓄えたオペラに対する思想を音楽に託し、次々と世に問う作品を発表してゆきます。歌手たちの虚栄心におもねる音楽から、詩に奉仕する音楽への転換。オペラ《タウロイのイフィゲネイア》のウィーン上演（1781年）ではモーツァルトもその稽古に立ち会っていました。グルックのオペラ改革はモーツァルトのオペラにも大きな影響を与えたのです。
〈思いがけない巡り会い／メッカの巡礼たち〉は、18世紀中最も人気のあったグルックのオペラで、モーツァルトはこの作品から感化を得て〈後宮からの逃走〉を作曲しています。また、アリア「われら愚かな民の思うは」の主題によるモーツァルトの変奏曲は、ヨーゼフ二世、そしてグルックも臨席していた演奏会で弾かれたものです。そのオペラからアリアと知られざる歌曲を、そしてモーツァルトの歌曲とアリアをお届けします。

《第15回》J.Ch.Fr.バッハ

J.S.バッハの音楽家になった息子で3番目にあたるヨハン・クリストフ・フリードリヒ・バッハは、1750年から亡くなるまで、小さいながらも当時有数の文化の香り高い宮廷で知られていたビュッケブルクの宮廷に仕えました。1778年、弟ヨハン・クリスティアン・バッハの住むロンドンを息子と訪問。そこでモーツァルトを知り熱烈な讃美者になります。ロンドンでフォルテピアノを購入しビュッケブルクに戻ったクリストフ・フリードリヒは、新しく就任した伯爵と、夫亡き後を摂政として継いだ夫人ユリアーネの元、楽長の務めを続けます。ユリアーネは傑出したピアニストでもあり、晩年のクリストフ・フリードリヒは、亡くなるまで古典的スタイルをこの街で極めることができました。
クリストフ・フリードリヒは、鍵盤の名手でも知られ、鍵盤作品にも独自の魅力があります。「お母様きてちょうだい」の主題による両作曲家の変奏曲の聴き比べや、四手のための作品などをお楽しみいただきます。

《第16回》J.L.ドゥセク

ヤン・ラジスラフ・ドゥセクは、チェコに生まれ修業時代を終えるとヨーロッパ各地を遍歴してピアニスト、ピアノ教師として各地で名を挙げます。ドゥセクが美しい横顔を見せるためにピアノを横置きにしてコンサートをしたのが、現代まで継承されています。フランス革命勃発時にパリにいたドゥセクは、混乱から逃れるようにイギリスへ渡ります。1792年にソフィア・コッリと結婚。彼女は歌手でピアニスト、そしてハーブの名手でした。妻への愛から、ピアノとハーブのための作品が生まれました。ロンドン滞在中にはブロードウッド社にピアノの音域の拡大を働きかけ、94年に6オクターヴのピアノが完成。ドゥセクは早速この音域で曲を書いています。
イギリスで事業に失敗。妻子を残し大陸に戻ったドゥセクは、プロイセンのルイ・フェルディナント王子の楽長になりますが、間もなく王子はザールフェルトの戦いで戦死。ドゥセクは〈エレジー・アルモニク〉を書き、死を悼みました。



小倉貴久子 クラヴィーア
Kikuko Ogura

東京藝術大学を経て同大学大学院ピアノ科修了。アムステルダム音楽院を特別栄誉賞を得て首席卒業。第3回日本モーツァルト音楽コンクール、ピアノ部門第1位。1993年ブルージュ国際古楽コンクール、アンサンブル部門第1位。1995年同コンクール、フォルテピアノ部門第1位と聴衆賞受賞。様々なコンサートシリーズを展開する一方、音楽祭やテレビへの出演も数多い。浜松市楽器博物館主催の多くのコレクションシリーズの録音やレクチャーコンサートでの演奏も高い評価を得ている。これまでにCDを40点以上リリース。それらの多くが各新聞紙上で推薦盤、「レコード芸術」誌で特選盤に選ばれている。CD《イギリス・ソナタ》は平成24年度文化庁芸術祭レコード部門〈大賞〉受賞。著書にカラー図解『ピアノの歴史（CD付き）』（河出書房新社）他。東京藝術大学古楽科非常勤講師。沖縄県立芸術大学非常勤講師。今年度はNHKラジオ第2放送カールチャーラジオ《芸術その魅力》でも講師を務めた。



野々下由香里 ソプラノ
Yukari Nonoshita

〔第14回出演〕
東京藝術大学声楽科大学院修了。関西フランス音楽コンクール、第4回日仏声楽コンクールともに第1位入賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院留学中、海外の国際コンクールにて入賞。1989年レナ歌劇場にデビュー。帰国後はバッハ・コレギウム・ジャパンのソリストとして活躍。古典期以前の歌唱装飾法の研究と教育に力を注いでいる。東京藝術大学古楽科教授。お茶の水女子大学講師。



荒川智美 クラヴィーア
Tomomi Arakawa

〔第15回出演〕
東京藝術大学ピアノ科を経て同大学院修士課程古楽科フォルテピアノ専攻を修了。修了時に大学院アカンサス音楽賞受賞。2010年にピアノとチェロのコンサートを開催。2011年に東京にてフォルテピアノを用いたコンサート「ウィーンのモーツァルト・サロン」Vol.1、2013年にVol.2を開催。現在、東京藝術大学大学院博士後期課程在籍中。また同大学古楽科ティーチングアシスタントを務める。



西山まりえ シンガリアクション・ハーブ
Marié Nishiyama

〔第16回出演〕
チェンバロとヒストリカル・ハーブ、2種の古楽器を操る希有なプレーヤーとして国際的に数多くのコンサートや録音に参加。CDは新聞雑誌等で特選盤・推薦盤に選出され、レコード芸術「読者が選ぶビートル2007」に選ばれるなど、常に話題を提供している。第11回山梨古楽コンクール・チェンバロ部門第1位、栃木「蔵の街」音楽祭受賞。信州アーリーミュージック村芸術監督。

予告

《第17回～第19回》ゲスト作曲家

J.Gエックハルト
Johann Gottfried Eckard [1735-1809]

J.M.クラウス
Joseph Martin Kraus [1756-1792]

J.ヴェルフル
Joseph Wölfl [1773-1812]

近江楽堂

(京王新線「初台」駅下車、オペラシティ方面出口3分)
〒163-1407 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティ3階
☎ 03-5353-6937 (近江楽堂・松木アートオフィス)

- ・限定120席につき、当日券の有無についてはお問い合わせの上ご来場ください。
- ・未就学児の入場はご遠慮ください。